

目 立 養 成 所 通 信

當所研究部製材研究室長北澤技師は12月1日より静岡縣鋸目立養成所に入所し幹部教育を受けているが、その通信が届きましたので茲に逐次登載致します。

北澤技師第一信

12月5日

拝啓 初冬の候皆様にはお変わりございませんか。出発以来十日程たちましたが、相変わらず元気に過しておりますから他事乍ら御安心下さい。

当地に参りますに、心からの壮行会を催ほして下さいの上御志まで頂戴衷心より感謝しております。不肖精一ぱい頑張る少しでも多く技術を身につけて帰りたいものと念願しております。

宿の方が落付かなく御挨拶も後れ大変申し訳なく存じております。

さて話は変わりますが、養成所の方は初日から早速実習に入り、先づ鋸の扱い方を習いました。

1. 一人で運搬移動する方法
2. 裏返す方法
3. 二人で裏返す方法
4. 輸送などすることを考えて三重に円くまるめる方法

等朝から晩まで、全くくたくたになります。正規の時間は 9.00~16.00時ですが、その他日の出から日没までは自習をやるのだそうです。殆んどが素人のため初日からケガをする者、ズボンを破く者等続出ですが皆夫々後の任務を思つてか仲々張切つています。未だ御報告することはありませんので今日はこれ位に致します。

第 二 信

12月11日

入所してほぼ十日たちました、勉強の方は概ね順調に進んでいます。今日は土曜日で何時もより早く帰宿し、二週間に亘る洗濯物をすませ一息入れたところです。

さて修業?内容について今までのところを簡単に御報告致しますと、

1. 鋸の扱い方(運搬、移動、結果等)

2. 帯鋸の接合

(イ) 荒磨(グラインダーによる)

(ロ) 手摺(荒磨面を角ヤスリと平ヤスリを使つて接合面を仕上げる)

(ハ) 接合(普通の方法で鋳--800--900°Cによつて接合する)

今日までに以上について行いましたが、グラインダーによる荒磨が仲々うまくいかず、接合面は2.5分に限定されて居り、相当注意しても線からはみ出たり、薄くしすぎて焼いてしまつたり、特に腰を低くして安定した姿勢でやるので疲れ、つい失敗したりしてほんとうに入門した許りですが、目立の難しさが身に伝えます。更にそのあとの仕上げが大変で、一寸した心のゆるみで折角の苦心も水の泡と言う場面がしばしばあります。

先日も申し上げましたように朝三十分~一時間説明(学科)があつてあとは只やる許り、而も機械が少なく人数が多いため早く占領しないと次第に後回しにされ、従つて朝も正規の時間の始る前から始め、昼休みも一時間のところ10~15分位で辨当をかき込みふつ飛んでいかなければ思うように熟練出来ません。毎朝二三カ月もすると小便の色が変り目が血走つて来るのが殆んどだそうですが、小生も皆んなに負けない様成果を収めて御期待の万分ノ一にもと思い一生懸命やつて居ります。毎日の実習の作品は必ず一片提出し、先生(末松講師)に見て批判してもらい又一週間に一遍宛学科試験が行われる由です。

小生も立派な成績を収めたいと努力しております。末松講師は約二十年余該業務に従つたベテランで、技術も優秀で、教授法も我々素人にもわかり易く感じます。小生には一倍心を配つてくれ説明も充分にしてくれ、お蔭様で今までのところ皆にも後れずにやつて居

ります。

次に当養成所の設備について申し上げます。既に課長はよく御存知の事と思いますが、建物は事務室、講義室、目立実習室、製材工場及び養成員宿舎二棟（六畳三室）となつています。設備の概略は

1. 目立室

自動帯鋸目立機五台（富士、田中、秋木、大井、菊川）

丸鋸帯鋸目立機一台（田中）

ストレッチャー 七台

接合機 二台

丸鋸腰入台 二台

2. 製材工場

中割、板挽ワンマン自動帯鋸機43吋（田中）

テーブル（ローラー付）帯鋸機42吋（富士）

以上が当所の主要施設ですが、当所へ参りましてから未だ日も浅く、実情をはあくするには尙困難な点があり、断言は出来ませんが、若し来年度目立室増設或は改築するとすれば、建物も相当なスペースを必要とするように感じました。当所の目立室は5間×11間で可成り広いことは広いのですが、何しろ素人を対称として居るため普通以上に場所もとり、又養成という特殊業務のため予想外に空間も必要とされるようです。

目立機についてですが、余り詳細に調査して居りませんで明確には申し上げられませんが、結論として、田中、秋木のものが比較的宜しいのではないかと存じます。今週は都合が悪くて行けませんでした。来週の日、日にかけて、静岡、清水の製材工場等を見学し、追つて詳細御報告致したいと思つて居ります。

最後に当所の教務内容の概要を申し上げますと、

- 1. 目立技術（丸鋸及帯鋸）
- 2. 製材技術（帯鋸）
- 3. 製品の選別、検査、結束
- 4. 木材規格

尙爾後の情況は又後便にて逐次御報告致すことにします。

本日はこれで失礼致しますが、皆様もお褒りなくお過し下さい。

第三信

1月27日

相変らず御無沙汰致して居りますが皆様にはお褒りありませんか

当方養成期間のほぼ半を経過、只今基礎的な部分を懸命に勉強しております。この基礎訓練が概ね三カ月あとの三カ月で実用と言いましよろか実際に使う鋸について自ら仕上げを行うことになつております。

さて、最近静岡縣庁より来年度或は再来年度「チップボード」工場建設の案を承り、ついては次の事項差支えなくば知らせてほしい由依来されましたのでお取次ぎ致します。

1. チップボード、スプリンボード、シェイピングボード等に必要諸施設

1. 上に要する建設、施設費

1. 主要原料

1. 従業員数

1. 製品見本（二組）

尙縣当局としては約三千万円の予算を計上する予定とかの話です。

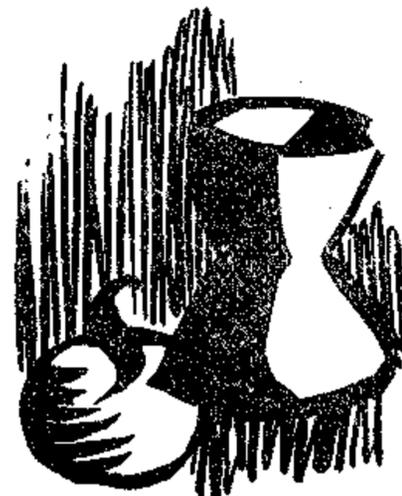
又上の製品以外でロール合板、吸音板其の他の指導所製品中差支えなき範囲のものも御送付願えれば幸甚です。

次に正月帰所致しました所伺いました「養成所の授業計画なるもの、新しいしものがなく四期生のものをお送り致します。若干のやりくりはある模様ですが概ねは本表の内容にそつてやつている様です。

近い内に月報の原稿一部お送りしたいと思つています。

先ずは取急ぎお願いまで。

勿々



目立養成所通信

当所研究部製材研究室長北澤技師は12月1日より静岡県鋸目立養成所に入所し幹部教育を受けているが、その通信が届きましたのでこれに逐次登載致します。

北澤技師第一信 12月5日

拝啓 初冬の候皆様にはお変わりございませんか。

出発以来十日程たちましたが、相変わらず元気に過しておりますから他事乍ら御安心下さい。

当地に参りますに、心からの壮行会を催して下された上御志まで頂戴衷心より感謝しております。不肖精一杯頑張り少しでも多く技術を身につけて帰りたいものと念願しております。

宿の方が落ち付かなく御挨拶も後れ大変申し訳なく存じております。

さて話は変わりますが、養成所の方は初日から早速実習に入り、先ず鋸の扱い方を習いました。

1. 一人で運搬移動する方法
2. 裏返す方法
3. 二人で裏返す方法
4. 輸送などすることを考えて三重に円くまるめる方法

等朝から晩までで、全くくたくたになります。正規の時間は9.00～16.00時ですが、その他日の出から日没までは自習をやるのだそうです。殆どが素人のため初日からケガをする者、ズボンを破く者等続出ですが皆夫々後の任務を思っか中々張切っています。未だ御報告することはありませんので今日はこれ位に致します。

第二信 12月11日

入所してほぼ十日たちました。勉強の方は概ね順調に進んでいます。今日は土曜日でも時もより早く帰宿し、二週間に亘る洗濯物をすませ一息入れたところです。

さて修業？内容について今までのところを簡単に御報告致しますと、

1. 鋸の扱い方（運搬、移動、結果等）
2. 帯鋸の接合
（イ）荒摺（グラインダーによる）
（ロ）手摺（荒摺面を角ヤスリと平ヤスリを使って接合面を仕上げる）
（ハ）接合（普通の方法で鏝 800～900 によって接合する）

今日までに以上について行いましたが、グラインダーによる荒摺りが中々うまくいかず、接合面は2.5分に限定されており、相当注意しても線からはみ出たり、薄くしすぎて焼いてしまったり、特に腰を低くして安定した姿勢でやるので疲れ、つい失敗したりして本当に入門したばかりですが、目立の難しさが身に伝えます。更にそのあとの仕上げが大変で、一寸した心のゆるみで折角の苦心も水の泡と言う場面がしばしばあります。

先日も申し上げましたように朝三十分～一時間説明（学科）があってあとは只やるばかり、而も機械が少なく人数が多いため早く占領しないと次第に後回しにされ、従って朝も正規の時間の始まる前から始め、昼休みも一時間のところ10～15分位で弁当をかき込みふっ飛んでいかなければ思うように熟練出来ません。毎朝二、三ヶ月もすると小便の色が変り目が血走って来るのが殆どだそうですが、小生も皆に負けない様成果を収めて御期待の万分の一のつもり一生懸命やっております。毎日の実習の作品は必ず一片提出し、先生（末松講師）に見て批判してもらい又一週間に一遍宛学科試験が行われる由です。

小生も立派な成績を収めたいと努力しております。末松講師は約二十年余該業務に従ったベテランで、技術も優秀で、教授法も我々素人にもわかり易く感じます。小生には一倍心を配ってくれ説明も充分にしてくれ、お蔭様で今までのところ皆にも後れずにやってお

ります。

次に当養成所の設備について申し上げます。既に課長はよく御存知の事と思いますが、建物は事務室、講義室、目立実習室、製材工場及び養成員寄宿舍二棟（六畳三室）となっています。設備の概略は

1. 目立室

自動帯鋸目立機五台（富士、田中、秋木、大井、菊川）
丸鋸帯鋸目立機 一台（田中）
ストレッチャー 七台
接合機 二台
丸鋸 腰入台 二台

2. 製材工場

中割、板挽ワンマン自動帯鋸機 43 吋（田中）
テーブル（ローラー付）帯鋸機 42 吋（富士）

以上が当所の主要施設ですが、当所へ参りましてから未だ日も浅く、実情を把握するには尚困難な点があり、断言は出来ませんが、若し来年度目立室増設或は改築するとすれば、建物も相当なスペースを必要とするように感じました。当所の目立室は 5 間×11 間で可成り広いことは広いのですが、何しろ素人を対称としているため普通以上に場所もと、又養成という特殊業務のため予想外に空間も必要とされるようです。

目立機についてですが、余り詳細に調査して居りませんで明確には申し上げられませんが、結論として、田中、秋木のものが比較的宜しいのではないかと存じます。今週は都合が悪くて行けませんでした。来週の土、日にかけて、静岡、清水の取製材工場等を見学し追って詳細御報告致したいと思っております。

最後に当所の教務内容の概要を申し上げますと、

1. 目立技術（丸鋸及び帯鋸）
2. 製材技術（帯鋸）
3. 製品の選別、検査、結束
4. 木材規格

尚その後の状況は又後便にて 逐次御報告致すことにします。

本日はこれで失礼致しますが、皆様もお変わりなくお過ごし下さい。

第三信 1 月 27 日

相変わらず御無沙汰致して居りますが皆様にはお変わりありませんか。

当方養成期間のほぼ $\frac{1}{3}$ を経過、只今基礎的な部分を懸命に勉強しております。この基礎訓練が概ね三ヶ月あとの三ヶ月で実用と言いましょか実際に使う鋸について自ら仕上げを行うことになっております。

さて、最近静岡県庁より来年度或は再来年度「チップボード」工場建設の案を承り、ついでに次の事項差支えなくば知らせてほしい由依来こされましたのでお取り次ぎ致します。

1. チップボード、スプリンボード、シェイピングボード等に必要な諸施設

1. 上に要する建設、施設費

1. 主要原料

1. 従業員数

1. 製品見本（二組）

尚県当局としては約三千万円の予算を計上する予定とかの話です。

又上の製品以外でロール合板、吸音板其の他の指導所製品中差支えなき範囲のものも御送付願えれば幸甚です。

次に正月帰所致しました所伺いました「養成所の授業計画」なるもの、新しいものがなく四期生のものをお送り致します。若干のやりくりはある模様ですが概ねは本表の内容にそってやっている様です。

近い内に月報の原稿一部お送りしたいと思っております。

先ずは取急ぎお願いまで。

勿々